

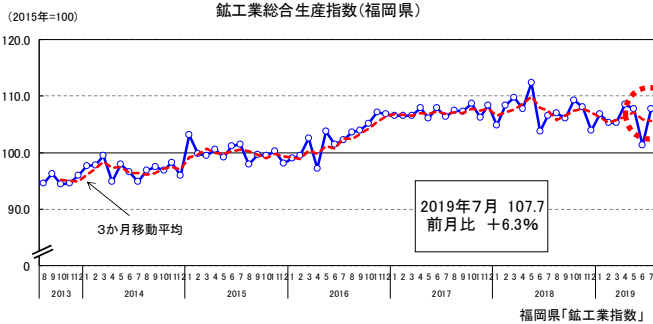
ふくおかの経済

令和元年9月号



生産 足元で弱い動きがみられるものの高水準で推移

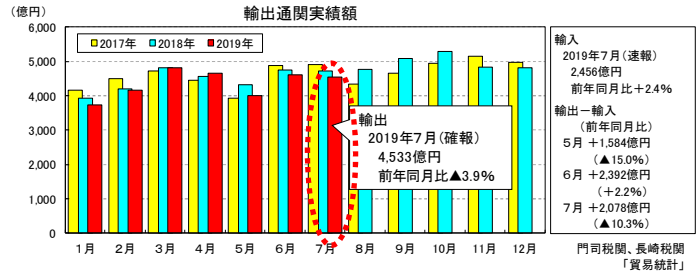
7月の生産指数は、輸送機械工業などの上昇により3か月ぶりに前月を上回っています。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

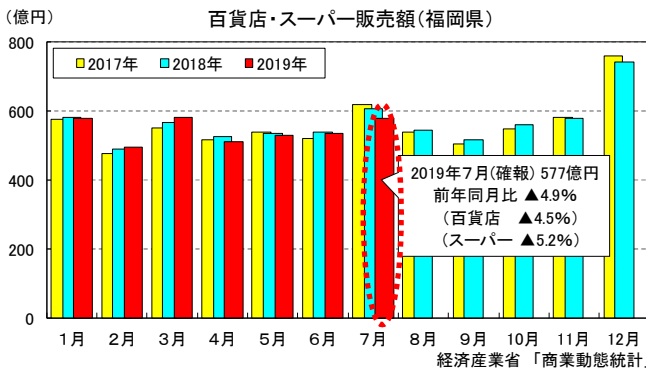
貿易 輸出、輸入ともに、高水準で推移しているものの、輸出については足元で弱い動き

7月の輸出は、一般機械などの減少により3か月連続で前年を下回りました。高水準で推移していますが、足元では弱い動きとなっています。



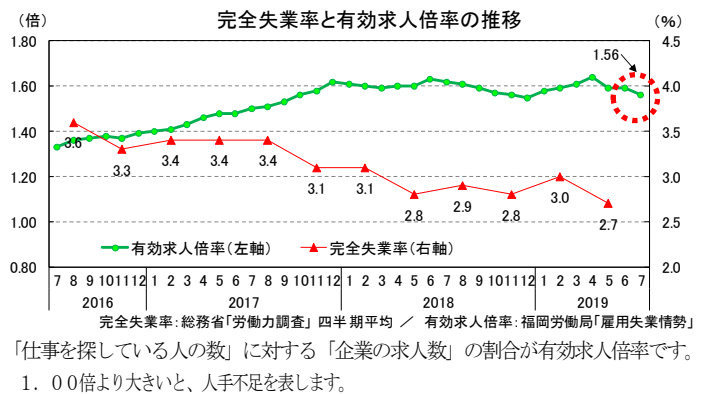
消費 緩やかに増加している

7月の百貨店・スーパー販売額は、天候不順により夏物商材が低調だったことなどから、4か月連続で前年を下回りました。



雇用 着実に改善が進んでいる

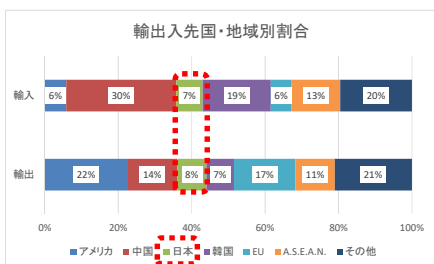
7月の有効求人倍率は1.56倍と、2か月ぶりに前月を下回りましたが、高水準で推移しています。



今月のピックアップ 経済成長を続けるベトナム~現況と福岡県との関係~

- 米中の貿易戦争が激化する中、中国で製造している米国向け輸出品の工場移管先として、ベトナムが注目されています。ベトナムは、好調な輸出を背景に成長を続けており、日本とも活発な貿易を行っています(図表1)。
- 経済成長と直行便の増加を背景として、訪日ベトナム人は急増しています(図表2)。就職や留学のために訪日するベトナム人も増えており、本県の在留ベトナム人は2018年に約15,000人になるなどこの5年間で約5倍増加しています(図表3)。
- 本県は、昨年首都ハノイ市と友好提携を結んで10周年を迎え、北九州市は、ベトナム3位の人口を有するハイフォン市と姉妹都市となっており、文化交流や技術支援を行っています。今後も本県とベトナムの間で経済的、人的な繋がりが広がっていくことが望まれます。

図表1



出所: 在ベトナム日本大使館経済班「2019上半期経済事情」

図表2



出所: 法務省「出入国管理統計」

図表3



出所: 法務省「在留外国人統計」